



# 図書館だより 6月

四日市メリノール学院図書館

今年も卒業生が、教育実習に来校しています。高校生にとっては、目指している学校の先輩に具体的な大学生生活の様子が聞けますし、学校は違っても大学の勉強や学校生活など話が聞ける良い機会です。中学生は、実習生の先生に大学でどのようなことを学んでいるのかを尋ねたり、なぜその分野の勉強をしようと思ったのかを聞いてみるのはどうでしょうか。

年齢の近い先輩から聞かせてもらった話などは、心に残るものです。この機会に実習生の先輩から、いろいろなことを吸収できると良いですね。

一部、学年貸出も始まり、教室で図書館の本がいつでも読めるようになりました。教室の本以外で「どんな本を読んだら良いのか」「どんなものから読み始めたら良いか」迷っている人は、司書に相談してくださいね。

## 今月のおススメ

高1の全クラスに授業で、本の紹介をする機会がありました。そこで紹介した1冊です。世界のいろいろな場面で活躍している日本人を紹介した際に、中村哲先生を紹介しました。彼は医師としてアフガニスタンで現地の人々の病気やケガの治療に当たっていましたが、活動を続けていくうちに「病気やけがを治療するよりも大事なことがあるのではないかと考えます。そして、多くの人々の募金などによる支援を募り、土地を整備するための重機（ブルドーザーなど）を購入し、自ら重機を運転しました。そして水路を作り、砂漠に砂防林を作り、緑の大地ができました。なぜ、そのような行動に至ったのかがこの本に書かれています。彼の行いは現地の人々には大変感謝されましたが、それをよしと思わない一部の人々により、命を失ってしまいました。しかし、彼の志は一緒に活動してきた人々に今も受け継がれています。一度読んでみてください。



「天、共に在り

アフガニスタン三十年の闘い」

中村 哲/著

NHK 出版/刊